



市議会だより

きたあきた



No. 43

平成27年2月1日発行

12月定例会

- 本定例会の審議 2～3
賛成・反対討論／議会報告会開催
- 常任委員会の審査報告 4～5
- 一般質問 6～10
- 議案等の表決状況 11
決算特別委員会審査報告
- 所管事務調査報告／市民の声 12～13
- 請願陳情・人事案件 14

堂々と分列行進
無火災の実現と安心・安全願う

～平成27年北秋田市消防出初式～

一般会計補正予算案などを原案可決

平成26年北秋田市議会12月定例会は、12月4日（木）から12月19日（金）までの16日間の会期で行われました。

今定例会では、条例案8件、予算案9件、各決算認定23件、請願・陳情11件など66件の議案が提案され、63件の議案が原案のとおりそれぞれ可決、承認、認定、採択、同意されました。

そのうち、北秋田市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例については、起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決されました。



陳情3件を除くすべての議案が原案のとおり可決された市議会12月定例会

今定例会の主な議案

- 一般会計補正予算案
- 議員報酬及び費用弁償等、及び一般職員給与と条例一部改正案
- 奨学資金貸付条例一部改正案
- あけぼの町内会館・上小様自治会館条例の制定案
- 保育実施に関する条例廃止案
- 国民健康保険条例一部改正案
- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例案
- 薬師山スキー場、市民プールの指定管理者指定案

機構集積交付金など

平成26年度一般会計補正予算案は、歳入と歳出の総額にそれぞれ749万3千円を加え、24億4,529万3千円とするものです。

歳入の主なものは、地域情報基盤整備事業に係る返還金646万4千円、後期高齢者医療療養給付費負担金354万5千円、機構集積交付金43万4千5百6千円、陸上競技

場備品619万6千円、林業施設災害復旧費920万6千円などが予算措置されました。

一般職の職員の給与と条例一部改正案

人事院及び秋田県人事院勧告に準じて、通勤手当の改正、昇給に関する改正規定（55歳を超える職員は標準の評価では昇給しない）、期末勤勉手当に関する改正（期末勤勉手当の割合を変更）を行うものです。

初日の大綱質疑では、「55歳で昇給停止することにより、来年度でどの程度の経費削減となるのか。また、過去に55歳を超えて勤務成績が極めて良好や、特に良好であると評価されて昇給した職員はいるのか」との質疑に対し、当局からは、「来年度はおおよそ190万円程度と見込んでいます。これまで適用したことはない」との答弁がある。

議員報酬及び費用弁償等条例一部改正案

この条例案は、合併後の議員の在任特例期間中に設定した額でもあることから、特別職報酬等審議会の答申を受けて提案されたものです。

答申された報酬月額、議長35万6千円（現行26万6千円）、副議長32万円（現行24万4千円）、議員30万2千円（現行23万2千円）で、平成27年4月1日から施行となります。

当局に反省を求める

議長は、本会議の冒頭、提案された議案資料に再三の訂正や差し替えがあったとして「担当当局で精査と厳重にチェックし、職員は常に緊張感と使命感を持って職務に精励されるよう強く反省を求め」と述べました。

りました。

賛成・反対討論

※発言順に掲載しています

▼議案第95号北秋田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論 福岡由巳議員

市民生活が改善されず厳しい中で引き上げ率は、諸般の事情からも極端すぎる。議員は、市民に信頼されない中では理解されない。

賛成討論 武田浩人議員

他市議会より低く、劣っていると思えない。市議会の充実を図り、人材確保と若者への環境づくりが必要。

反対討論 板垣 淳議員

財政が厳しく定数削減したのに自己矛盾している。職員同様、議員も我慢するべき。

賛成討論 山田博康議員

市民に説明と理解を求めながら、これを契機にさらに市民の負託にこたえる議員活動を展開するべき。

▼陳情第13号集团的自衛権容認の閣議決定を撤回し、閣議決定にもとづく法整備等を行わないよう関係機関に意見書を提出することを求める陳情について

賛成討論 三浦倫美議員

憲法9条をふみにじり、軍事産業が栄えていくような日本を、未来ある若者や子供たちに残すべきでない。

反対討論 武田浩人議員

政府では検討を重ねてきており、国民を守るために万全を期す止むを得ない自衛の措置として許容される。

賛成討論 福岡由巳議員

世論調査でも過半数が反対、評価しない、支持しないと回答しており、国民の支持は得られていない。

▼陳情第14号住民税非課税基準の引き下げをしないことを国に求める陳情書について

賛成討論 福岡由巳議員

非課税から課税となる方が多くなり、負担増となる。弱者切り捨てにつながり、当市でも重要な陳情である。

賛成討論 久留嶋範子議員

低所得者の暮らしはますます大変。市民の暮らしを守るのが我々議員の仕事である。

▼陳情第10号労働法制の改悪に反対し安定した雇用の実現を求める陳情について

反対討論 黒澤芳彦議員

行政、議員、国民の目で監視すべきもので、何をもって改悪とするのか根拠が明確に示されていない。

賛成討論 三浦倫美議員

働き甲斐のある人間らしい仕事の実現こそが、働く人々の幸せや社会発展にもつながる。

賛成討論 福岡由巳議員

雇用の安定を取り戻し、インセンティブを実現する改正案を求め賛成する。

『議会報告会』を開催します！

北秋田市議会基本条例第6条の規定に基づく「議会報告会」を下記により開催します。開かれた議会・議会活性化の一環として、広く市民の負託にこたえるべく、議会の活動状況や特に議論となりました話題などについて報告します。皆様の地域の情報や、課題についてもお知らせください。ぜひ、お誘いあわせのうえご参加をお願いします。

〔◎下記のとおり各会場で行います〕

月 日	【1 班】	【2 班】	【3 班】	【4 班】
平成27年 2月22日(日)	〔鷹巣地区〕 中央公民館 午後2時00分	〔合川地区〕 セントラル合川 午後2時00分	〔森吉地区〕 森吉コミュニティセンター 午後2時00分	〔阿仁地区〕 阿仁庁舎 午後2時00分
担当議員	●庄松山 佐福 司尾田 藤岡 憲秀博 文由 三郎一 康信 巳	●板佐吉 武長 垣藤田 田崎 光仁吉 浩克 淳子郎 人彦	●佐中久 松関 藤嶋橋 橋口 重洋範 正 光子子 隆則	●黒三大 小堀 澤浦森 原部 芳倫光 彦美信 寿壽

●=班の代表者

市民福祉

放課後児童健全
育成事業について

当委員会に付託された案件は、条例案5件、予算案5件、陳情6件の計16件でした。

当初予算での予算確保をすべく財政と協議中であり、人員をしっかりと確保して来年の4月以降に向けたことの答弁がありました。

民間委託の進捗は

北秋田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定については、委員から支援員は知事が行う研修を終了した人と規定されているが、研修を受ける間の人的補償はどのようなものかとの質疑があり、当局からは、支援員の最低基準は2人であり、この人数に合うように人的配置するため、

一般会計補正予算では、4月から民間委託を実施する鷹巣中央保育園の備品購入費用の244万円が計上されていることについて、委員会からは、今回のもので終わりなのか、それとも

3月補正で追加する可能性があるのかとの質疑に対し、当局からは、来年4月に向けて故障する恐れがあるものはできるだけ直して、更新してから渡したいと考えており、どうしてもということになれば3月補正に計上することになるとの答弁がありました。

また、介護保険特別会計補正予算では、委員から介護システム改修委託費の関連質問として、階級が6から9に変更になった場合、現在の介護保険収入と比較するとどう変わるのかとの質疑があり、当局からは、現状と比べると1500万円の保険料収入がマイナスとなり、不足を生じること

になるとの答弁がありました。以上、審査の結果、付託された議案については、全て全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。なお、陳情については、年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める陳情については、審査の結果、陳情の内容について確認する部分があることから、さらに慎重審査を要するとして継続審査すべきものとし、また介護従事者の処遇改善を求める陳情については、同様の内容のものが2件提出されており、1件を原案のとおり採択すべきものとし意見書の提出

(委員長 小笠原 寿)



民間委託が予定される保育施設

産業建設

電気料高騰による
指定管理料の増額

当委員会に付託された案件は、予算案5件、請願2件、陳情1件の計8件でした。

一般会計補正予算所管分については、農地台帳シス

テム予算に関して、農業委員会費と農業振興費に同様の予算が措置されているが、その関連について質疑がありました。

その関連について質疑がありました。また、介護保険特別会計補正予算では、委員から介護システム改修委託費の関連質問として、階級が6から9に変更になった場合、現在の介護保険収入と比較するとどう変わるのかとの質疑があり、当局からは、現状と比べると1500万円の保険料収入がマイナスとなり、不足を生じること

のシステムが親機で、その端末が各支所に配置されているが、農地中間管理機構の關係に伴い農林課にも配置となり、予算科目が異なることからそれぞれに予算配置となることの答弁がありました。法人化支援補助金に関しては、該当する法人と具体的な補助内容について質疑

がありました。当局からは、今回圃場整備を行っている吉田地区と本城地区の2法人を予定している。補助事業内容は、法人設置に係る一般事務費となり、会議事務用品やパソコンリース代なども該当するとの答弁がありました。また、商工費の関係では、6施設の指定管理料増額補

正の要因について質疑がありました。

当局からは、今回の補正については全て電気料金の高騰によるものと答弁がありました。

簡易水道特別会計補正予算については、公課費・消費税の補正は税率の変更に

当局からは、9月の確定申告に伴う金額の変更であるとの答弁がありました。

農業集落排水施設・ 下水道事業は減額

農業集落排水事業特別会計補正予算については、施設維持管理委託の請負差額による減額補正で、当初予算との相違が大きいことに

質疑がありました。

当局からは、維持管理業者の企業努力などもあり、8件の契約があることから、それぞれ減額でのトータルであるとの答弁がありました。

下水道事業特別会計補正予算については、大綱質疑では歳入予算の減額について質疑がありましたが、委

員会では、工事請負費の減額補正と事業内容に関して質疑がありました。

当局からは、鷹巣地区の工事であり、継続的に事業を進めている所の減額となる。今後も面数が計画より若干延びる予定であるが、市民生活に影響を及ぼすことがないように引き続き早め

いとの答弁がありました。

以上、審査の結果、当委員会に付託された案件は、請願1件に一部意見がありました。陳情1件の賛成多数による採択を除き、全て全会一致で原案のとおり可決及び採択すべきものと決しました。

(委員長 庄司憲三郎)



シーズン中の阿仁スキー場(指定管理)

総務文教

議員報酬等の一部改正

当委員会に付託された案件は、承認1件、条例案3件、予算案1件、単行議案2件、陳情2件の計9件でした。

北秋田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定については、今回の審議会は平成20年以来の開催ということだが、審議会の開催は定期的に行っていないのか、このタイミングで諮問したのは何故か、審議会で引き上げに反対する意見はなかったのかとの

質疑がありました。

当局からは、報酬等については、常勤の特別職も含め定期的に諮問をする形にはなっていない。その時々環境や経済状況等により提案するタイミングは変わってくる。議員報酬については、県内の市と比較し、当然あるべき姿にしなければいけない。過去にも提案した経緯があるが、豪雨災害を考慮したことや、定数削減もあり今回の提案に至った。審議会では、引き上げは必要というのが総意で

あったが、上げ幅が大きすぎるという意見もあり諮問より低い額での答申となったと答弁がありました。

反対の立場から、議員定数削減が議員発議として上程され、26人から20人に削減する条例案が賛成多数で可決された。理由は厳しい財政事情から議員が率先して節約ということで削減したこと、節約に逆行したことから、節約に逆行した市民感情からも納得できるものではないとの意見がありました。

採決の結果、賛成多数で可決すべきと決しました。

「教科書」を

各小学校へ

平成26年度北秋田市一般会計補正予算(第5号)所管分については、教育振興費・備品購入費の平成27年度小学校教師用教科書、指導書について、4年に一度とあるが、1校あたりの価格はいくらかとの質疑がありました。

当局からは、学級数により異なるが、鷹巣小学校、合川小学校については、複数の学級があるので他の学校の約2倍の140万円から150万円、あとは大体70万円、80万円前後となっているとの答弁がありました。

審査の結果、当委員会に付託された案件は、北秋田市議会議員の議員報酬及び



平成27年度版の教科書

(委員長 佐藤 重光)

一般質問

活かそう市民の声 市政を問う

各議員の質問に答弁する津谷市長



一般質問は、12月11日・12日に行われ、8名の議員が市長に対して、国保税、高齢者対策、子育て支援、医師確保、除雪問題、交付税、安全対策、森吉山など様々な問題についていただきました。

※掲載文は、質問者の執筆による原稿を掲載しております。

◎一般質問は、「一問一答方式」と「総括質問方式」の選択制としています。

鎌沢の浸水被害の解決は



福岡 由巳 議員（無会派）
〔一問一答方式〕

災害から10カ月後の回答書。3回浸水被害にあったこと、回答書は、改良区と自治会とで改善をとのこと。市は関係ないのか。

〔答〕市は関係ないではなく、市から働きかけ努力しなければと思う。

議員：国保税の引き下げを

市長：基金の取り崩しが必要

〔問〕鎌沢集落は、昨年計3回の浸水等があり、自治会は9月19日付で写真添付し調査報告書を提出した。市は3項目について対応しなかったため、改めて10月17日付で要望書を提出したがそれも回答なし。そこで、今年になって4月に同じ要望書を再提出、それでも動きがないため自治会長が電話をしたところようやく4月24日に担当課が調査に来た。それでも回答書は届かず。どの様な対応したのか。

〔答〕何度か現地調査を行い、6月24日付の回答になった。

〔問〕調査は自治会に一切連絡がなく、しかも

〔問〕国民健康保険の基金は4億円余ある。1世帯1万円引き下げ、暮らしを少しでも楽にすべきでないか。年間5721万円で済む。

〔答〕被保険者の減少による税収減や、医療費や後期高齢者支援金等の増加で年々厳しく、新年度は2億円余の基金取り崩しが必要等から大変難しい状況だ。

〔問〕法定外繰入れは当市で実施していないが、平成24年度全国平均で1人当たり1万986円となっている。当市も検討すべきでないか。

〔答〕4億円を超える基金があり、法定外繰入れをするつもりはない。



昨年3回浸水した鎌沢

〔問〕来年度から財政共同安定化事業一円化の制度になり、県単位の事業で現在の基金は必要なくなる。納税者に還元すべきでないか。

〔答〕平成18年以降、税率を改正しないうえに、国保税を上げないのも一つの還元だと考える。

高齢化対策の強化推進を



武田 浩人 議員（緑風・公明）
〔一問一答方式〕

問 高齢者世帯に対しての健康管理と、適正医療の提供について。
答 疾病を抱えても、自宅で自分らしい生活を続けられるよう医療・福祉・介護の連携で「地域包括ケアシステム」の構築を目指します。

問 災害時要援護者の支援体制について。
答 改訂作業を進めている「北秋田市地域防災計画」の中でも、避難時に予想される困難な事情に対する防災の方策を示す予定です。

問 包括支援センターの機能強化について。
答 30年度をめどに、適正な体制整備に努めていく予定です。

問 認知症の早期発見について。
答 認知症初期集中支援推進事業では、支援チームを設置し専門医の指導の下、保健師や看護師をはじめ、専門員が訪問や家族支援、自立支援を行うことになりす。30年度までに体制を整えていきます。

問 介護予防や健康寿命増進対策について。
答 健康講座や介護予防講座を諸団体からの依頼で、各地区の自治会館等で出前講座を行っています。

また、高齢者の地域活動への参加は、介護予防になるので、積極的な取り組みを推進していきます。

また、高齢者の地域活動への参加は、介護予防になるので、積極的な取り組みを推進していきます。

議員：認知症対策について

市長：30年度までに体制整備

問 交通弱者対策と買物支援について。
答 デマンド型乗合タクシーの実証運行検証後に検討します。

問 公共施設のバリアフリーについて。
答 洋式トイレへの移行と手すりの設置は、随時整備をします。

問 公共施設のバリアフリーについて。
答 洋式トイレへの移行と手すりの設置は、随時整備をします。



健康で生き生きライフ

借入増は公約違反だ



板垣 淳 議員（共産党議員団）
〔一問一答方式〕

問 大型公共事業がめじろ押しだが、財政は大丈夫か。
答 国からの交付税や基金があるので不安はない。

問 24年度の借金残高は226億円。これに昨年は2億円、今年は12億円増えた。来年度は。
答 さらに増える見込みです。

問 昨年の市長選挙で津谷さんは「返済額を超えないよう借入を制限する」と公約した。選挙広報やチラシにも書いた。実際は、選挙公約を破っているではないか。
答 確かにそのように公約したが、必要な事業を行った結果、こうなった。今後も起債はできるだけ有利なものを活用するようにしたい。

問 有利な...と言つて借金を重ねて夕張は破業を行った結果、こうなった。今後も起債はできるだけ有利なものを活用するようにしたい。

問 有難いな...と言つて借金を重ねて夕張は破業を行った結果、こうなった。今後も起債はできるだけ有利なものを活用するようにしたい。

議員：高卒まで医療費無料に

市長：相対的に検討したい

問 栃木県大田原市を視察してきた。市内で買い物する金券「子育てチケット」の売り上げや市長退職金受け取り拒否などで財源をつくり、①高卒まで病院代無料、②学校給食費無料、③子育てする親の支援などを行っている。参考にして、当市でももっと積極的に子育て支援を。
答 子育て支援にはこれからも力を入れる。①医療費無料は相対的な子育て支援策の中で検討したい、②給食費無料は財政負担が大きいののでできない、③親支援はいま行っているものは継続し、さらに充実させる。

問 学校給食の民間委託は、地場産使用率向上や食育に障害がある。「委託検討」は撤回すべき。
答 直営でやります。



学校給食センターは直営で

住宅補助制度の継続を



久留嶋 範子 議員 (共産党議員団)

〔一問一答方式〕

効果が必要であり、ニーズを踏まえながら研究していきたい。

問 医師確保に思い切った施策を。従来と変わらないの方針では、医師不足は解消できない。来年度に向け、思い切った施策が必要。医師確保のためのプロジェクトチーム組織化と、



医師不足が続く市民病院

医師修学資金貸与制度設立の考えは。

議員：医師確保に大胆施策を 市長：今までどおり取り組む

答 秋田大学をはじめ、医師派遣をいただいている関係機関との信頼関係を大切にしながら継続的な取り組みを展開していきます。プロジェクトチームは、その状況をみながら必要に応じて検討していきたい。医師確保は長い時間がかかるため、市民病院を勤務地に選択してくれるような環境づくりを努めていきます。

調査では、医療サービスや公共交通などが低下したという回答が多いが、どのように受けとめていますか。

問 合併後の市民意識

答 医療サービスの悪化は、米内沢総合病院の廃止や市民病院の医師不足によるもの、バス路線廃止や運行本数の減などが要因と考えている。結果を謙虚に受けとめ、幸福を感じながら生活ができる施策を展開していきます。

地域に合った除雪支援



山田 博康 議員 (清和会)

〔一問一答方式〕

て市が先頭に立つて積極的に行動をとるべきと思うが。

問 県と協働でまると森吉山観光振興プロジェクト事業を推進しており、四季を通しての森吉山の魅力と誰で

議員：降雪量を基に配慮を 市長：地域を区切った検討も

問 山間地域ほど急速に高齢化が進み、集落によっては住民達だけの門口の除排雪が困難の集落があり、今後さらに状況の悪化が予想されます。行政区域が広大な当市では、中心部と山間地で降雪量に3倍以上の格差が現実としてあります。福祉の雪事業への助成にあたり、今までの全市一律助成を見直して、作業量に応じた地域別の助成額の導入を検討するべきではないでしょうか。

答 そのような状況が今後発生することは認識しており、課題解決に向け対応していきたい。

問 森吉山のゴンドラ運行では最盛期に天候に恵まれ、2千人を超える利用者が訪れたが、トイレが足りなく不評をかったようで、阿仁避難小屋への増設と登山道の木道も経年に伴う破損から修復が必要になっていきます。実施主体であります県当局に対して、NPO等関係団体と連携を密にし



山間地域の降雪状況

答 住民税非課税世帯の高齢者世帯を対象に、

も気楽に行けるよう全国に発信しており、さらに多くの観光客を迎えるためにも施設改善は不可欠と考えるので、早期に実現できるように県に対し継続して働きかけてまいります。

安全設備の管理体制を



三浦 倫美 議員（共産党議員団）
〔一問一答方式〕

問 カーブミラー、交通標識、集落案内板、防災無線等の破損、劣化、傾き等が多数ありますが、行政の責任として、保守管理と予算充実を図るべきではないでしょうか。

答 市民目線で状況把握に努め、順次対応します。地域からの情報もお寄せください。

問 自助・共助が強調され、自治会や町内会等の過重負担になっていないでしょうか。公助が弱いのではないのでしょうか。

答 これまで以上に市の職員が地域に出向き、地域課題解決を図る協働の取り組みを積極的に推進してまいります。

問 自治会要望等への回答や対応が不十分であり、住民不満が大きい。早急に改善すべきではないでしょうか。

答 要望に対する市の現状と考え方を明確にし、文書や電話で回答する等、できるだけ細かい対応に努めてまいります。

問 デマンド型交通の実証運行の状況把握は。

答 10月から半年間の予定で、福田、新田目、本城、道城、上杉經由の市民病院南線の2カ月間の実績は、片道単位で23便、延べ利用者41人です。曜日や時間帯が通院の実情と合わない点等、要望を把握し、柔軟に対応したいと考えております。

議員：今年も福祉灯油実施を 市長：熱意あり、柔軟に対応

問 市内全域の公共交通網の今後の計画は。

答 JR、内陸線、バスの幹線と乗合タクシー等、枝線との接続の工夫など、あらゆる角度から検討します。

問 市民生活が厳しくなり、今年も福祉灯油実施で暮らし応援が重要です。秋田の共産党議員団で政府交渉、県交渉も行い、国や県に支援を要望しました。



カーブミラーの劣化状況

市の熱意でぜひ実現を。
答 昨年のように熱意あり、県の考えも聞き柔軟に対応いたします。

新年度予算編成の考えは



佐藤 文信 議員（新創会）
〔一問一答方式〕

問 平成27年度から合併特例債が廃止されることにより、交付税の縮減が始まりますが、見通しと新年度予算編成に関する基本方針は。

成では、経常的な市の単独補助金の幾つかの見直しを考えております。また、必要な事業は行い、有利な起債の活用や基金は財政調整の必要に応じて出し入れをし、身丈に見合った財政運営を行います。冠婚葬祭における地域振興券の活用によ

り、お金が地域循環することで商業振興を図る考えは。
答 市の経済の活性化にはプラスだと思えます。JAや商工会等と連携を図りながら、地域の商品消費してもらえらる仕組みを検討します。

議員：営農継続の対策は 市長：種子助成を検討

問 5年後約20億円減少すると予想されていますが、算定の見直しにより半分程度に圧縮されることを期待しています。新年度予算編

問 青年就業支援金に市として独自加算を行います、新規就農者を確保する考えは。

答 平成24年度設置しました営農研修センターでの研修生に対する助成を行っております。平成32年度までに年間7人の青年新規就農者を確保する目標を定め、農地の維持確保と集積、規模拡大を図ります。

問 水田フル活用交付金の有効活用における飼料用米の取り組みに

ついて。
答 農家所得向上の面からも有用で、作付け拡大は生産者、集荷業者実需者の連携を図りながら推進します。また、品種特性を検討し、稲わらの利用も検討します。

問 米価下落における再生産に向けた支援としての種子助成は。

答 農家所得の向上が見込める飼料用米や、加工用米と合わせて主食用米への種子助成について検討します。



米の低温倉庫（JA）

森吉山を国立公園に



中嶋 洋子 議員(みらい)
〔総括質問方式〕

問 現在、環境省は国立公園の見直しをされており、平成19年以降4カ所が指定されている。国立公園編入への目的は、学術的にも貴重な動植物を保護するために、指定範囲を拡大することです。

①長年森吉山の自然の調査研究をし、保護活動に努めて来られた森吉山の自然を守る会、山岳会、有識者等から「森吉山の現状と要望を聞く会」の開催を。

②観光、経済関係の人々を含めた協議会を設立し、県に働きかけ環境省への運動展開を。

答 国立公園編入の話は初めて聞いた。山

岳関係者からは一度もそういう話しは聞いたことがありません。ご提案いただきました国立公園に編入することにつきまして、メリット、デメリットは何かを見極めたうえで様々な角度から勉強させていたいただきたい。国立公園にすることが地元にとって大きなメリットであれば、地域を巻き込んで一緒に行動するべきだと思いません。

**議員：要望を聞く会の開催を
市長：直接話しを伺いたい**

問 東日本大震災の津波で壊滅した元三陸国立公園について、国は地方活性化の観点から国費をつぎ込み、三陸復興国立公園として復元することが決定しております。これは国が提唱する「地方創生事業」に類するものと思われまます。北秋田市も「地方創生事業」の一環として、森吉山の国立公園編入に取り組んではと思えますが。

答 創生総合戦略策定に向けた関連法案が可決されたばかりで、具体的な内容は明らかに

なっていない。大きなチャンスと捉えている。市の課題解決のための関連事業などの情報収集に努め、国の動向を注視し、関係機関と連携して対応していきたい。



国立公園を待つ森吉山

「決算認定」とは？

〔～ 決算特別委員会 ～〕

決算報告書の審査については、事案の重要性、複雑性、膨大性から、特別委員会を設置し、新たな構成員をもって審査するのが通例となっています。



議会が、一会計年度の歳入歳出予算の執行の実績である決算について、その内容を審査した上で、収入・支出が適法かつ正当性に行われたかどうか確認する議決事件の一つであり、市長は、監査委員の審査意見を付けて、次年度の当初予算を審議する前に、決算を議会の認定に付さなければならないものとされています。

これは、予算が、当該会計年度の歳入・歳出についての予定的見積りであるため、この執行段階においては、当初の予測そのままに必ずしも執行運営されていくものとはいえ、また、歳入歳出予算のうち、議決対象となるのは、款・項・目・節のうち款・項に限られており、具体的事業内容については、広く執行段階に任されていることなどから、歳入歳出予算の執行実績や結果について、改めて議会に批判や監視の機会を与え、市の財政運営の適正を期すこととしているものです。

★決算審査に当たっては、議会として、法令、条例、規則等関係法規に対する適合関係、計数的正誤等にとどまらず、過去の財政運営を通じて問題点を発見し、将来の財政運営にこれを反映させるといった視点からの検討も期待されているものといえます。

賛否が分かれた議案等の表決状況

○:賛成 ●:反対 ▼:欠席もしくは退席 除:除斥

所属党派・議員氏名 採決結果 議案名	採決結果	緑風・公明				みらい				共産党 議員団		清和会		新創会		無党派					
		関口 正則	堀部 壽	武田 浩人	小笠原 寿	佐藤 光子	大森 光信	黒澤 芳彦	中嶋 洋子	庄司憲三郎	松橋 隆	板垣 淳	久留嶋 範子	三浦 倫美	吉田仁吉郎	山田 博康	長崎 克彦	佐藤 重光	佐藤 文信	松尾 秀一	福岡 由巳
【平成26年12月定例会／平成26年12月19日採決】																					
北秋田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
労働法制の改悪に反対し安定した雇用の実現を求める陳情について	採択	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
集団的自衛権容認の閣議決定を撤回し、閣議決定にもとづく法整備等を行わないよう関係機関に意見書を提出することを求める陳情について	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
住民税非課税基準の引き下げをしないことを国に求める陳情書について	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※全会一致の可決、採択については除いています。
 ※無記名投票の場合は、賛成・反対の票数を記載します。
 ※議長は、過半数で議決すべき場合には、法第116条第2項で「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、松尾秀一議長は採決には加わりません。

主な議案の内容は？ ※今定例会や臨時会において、活発な議論が行われた議案や注目された議案の内容を詳しく説明します。

議案番号／議案名	内容説明
【議案第95号】 北秋田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	北秋田市特別職報酬等審議会の答申に基づき、所要の規定の整備を行うものである。 ◆議長：「月額 266,000円」を「月額 356,000円」に、 ◆副議長：「月額 244,000円」を「月額 320,000円」に、 ◆議員：「月額 232,000円」を「月額 302,000円」に改める。 ▼この条例は、平成27年4月1日から施行となります。

決算特別委員会審査報告

- 【開催日】
 ① 9月9日
 ② 9月26日
 ③ 10月20日
 ④ 10月21日
 ⑤ 10月22日
 ⑥ 10月24日
 ⑦ 10月29日
 ⑧ 11月10日

平成25年度各会計決算認定議案23件が本委員会に付託されました。審査にあたり、代表監査委員から実務監査の実態等について意見を求めました。また、審査の最終日には、市長、副市長、教育長に対して総括質疑を行い、認定・不認定の判断に資しました。

各会計の審査では
活発な質疑応答・意見

一般会計決算の審査では「箱物建設に慎重姿勢で対応していたのにも関わらず、施設建設費や設計費等大型プロジェクト事業が推進されている。福祉の雪事業では非課税世帯を対象とし、利用者縮小とサービス低下となっている。大

規模事業よりも市民に温かい市政を求める」と反対討論がありました。また、「いろいろな角度から審査し、市の財政運営は全体的に良い方向での推移と感ずる。これも行財政改革の努力により、その成果が顕著に表れている」と賛成討論がありました。

病院事業会計決算の審査では、「指定管理制度での利用料金制により運営され、医業収益が発生しておらず、指定管理料や建設時の借入償還利子等、一般会計からの負担金や補助金で賄われているのが実態で、市の財政を悪化させている。打開策は医師確保で収益増を図るべきだが、医師確保予算はゼロである。医師確保をはじめとする様々な課題と改善を切に求める」と反対討論がありました。

審査の成果を
新年度予算に反映へ

慎重に審査した結果、総合的な口頭の付帯意見として「決算特別委員会の審査の成果が、平成27年度予算に反映されるよう求める」と付して、全ての議案を認定すべきものと決しました。

(委員長 松橋 隆)

所管事務
調査報告

川口市・みなかみ町を視察研修

総務文教常任委員会所管事務調査

総務文教常任委員会は、公有財産の老朽化対策（埼玉県川口市）、廃校利用（群馬県みなかみ町）を研修課題とし実施しました。

「公共施設マネジメント」で課題整理

川口市では、全国的にも問題となっている公共施設の大規模な改修や建て替え、更新について、また今後の公共施設の活用について検討することから、平成21年3月に「川口市施設白書」を作成、後に「川口市施設マネジメント基本方針」を行政改革で位置付けました。マニュアルを用い定期的な施設の維持点検を行い、施設の力



埼玉県川口市の調査の様子

ルテを作成するなど、全庁体制で修繕費の抑制に努めています。少子高齢化による人口減少を見据えた公共施設の総量抑制による施設の廃止や複合化は、一律適用とせず、市民サービスへの影響を最小限に留めるために、分野別の優先順位を考えるなど、公共施設マネジメントを用いることの必要性を確認しました。

温もり溢れる木造校舎を宿泊施設に

みなかみ町では、猿ヶ京小学校スポーツアカデミーが運営している「泊まれる学校さる小」廃校活用プロジェクトとして、町からの補助金は一切なし、自分たちの売上金で全てを運営し、独立採算経営に挑戦。学校をテーマパークに、雰囲気売ることを目指し、利用者自らが企画し、貸し切りの小学校の雰囲気を楽しんでもらうことに専念しています。「将来は、若者が集い地域の雇用促進に貢献できて成功するには、ひとひねりもふたひねりも大事、脳みそに汗をかかなければだめだ」という代表理事の言葉が印象的に残りました。

所管事務
調査報告

大田原市・高崎市を視察研修

市民福祉常任委員会所管事務調査

市民福祉常任委員会は、11月18日から20日まで栃木県大田原市と群馬県高崎市を訪問し、子育て支援について調査を実施しました。

市全体で子育て支援の取り組み

大田原市は、子育て支援と商業の振興を考慮した「子育て支援券事業」を導入しています。子育て支援券は市内の8割の商店、量販店で利用でき、商品を購入することで地元商業の振興を図っています。登録店舗は市に対して、支援券の換金時に手数料として額面の1%を協力はします。市はそれに1%を加算し、合計2%を「子育て支援金」として積み立てを行い、



栃木県大田原市の調査の様子

その基金で法定外予防接種費用や学校給食費に対する助成など、子育て支援策に活用しています。

子育て世代の悩み解消

また大田原市は、市の中心部に市街地再開発事業として建設された食品販売、飲食店、市民交流センター、図書館、マンションが入所する複合施設「トコトコ大田原」内に「子ども未来館」を設置しています。子育て世代にとっては、同世代の時間を共有できる交流の場、相談、悩みなどの意見交換の場として利用できるよう工夫されているのが特徴的でした。

高崎市では、「子ども発達支援センター」を設置し、事務員、教員、保健師、心理士、看護師、保育士、幼稚園教諭、作業療法士、言語聴覚士など、様々な職種が関係し、発達に不安や課題を持つ児童とその保護者や関係者の相談に応じ、不安軽減を図るための総合的支援を行っていました。

両市の「子育て支援」は、当市においても参考になるとの思いで調査を終えました。

所管事務
調査報告

長浜市議会などを視察研修

産業建設常任委員会所管事務調査

産業建設常任委員会は、11月17日から19日まで滋賀県長浜市と彦根市を訪問し、観光振興と農林業に関して調査を実施しました。

「市民自治精神」
強い住民の気質

長浜市は、里山を健全な姿で保全・維持するため、里山モデル林を拠点とした森づくり関係団体の育成支援や市民と協働での里山再生事業を推進しています。また、豊富な森林資源の有効活用を図るため、化石燃料に依存しない木質バイオマスによる再生エネルギーの普及・促進を進めるなど、琵琶湖と森林の環境重視の森づくりと森のエネルギー活用を展開しています。



滋賀県長浜市の調査の様子

当市でも、森林の占める比率が高いことから、森林資源の活用が大きな課題と感じました。

また、大型店の郊外進出等により衰退した商店街を、黒壁を中心としたまちづくりにより、中心市街地活性化を実現しています。アーケード通りでは、日本的な建築づくりと落ち着いた配色スタイルで統一された、ノスタルジックな雰囲気漂う個性ある魅力的な景観となつていきます。これは、市民から歴史ある建物と文化や伝統的なまちの雰囲気を保存しようとする運動が起こり、集客のための個性ある美しいまちづくり構想が立案されました。まちづくりの3つの流れとして、①商工会議所・商店街・市の種まき事業具休化の様々な仕掛けづくり、②市民会議（青年会議所OB等）のビッグプロジェクトの提案等、③株黒壁のまちづくり牽引という流れが確立され、夢のある事業の実現とまちに回遊性をもたらしています。

当市でも、中心市街地の商店街活性化が同じ課題であり、斬新なアイデア等が必要と感じました。

「市民の声」



北秋田市自治会連絡協議会副会長
合川地区会長
金森 勝三さん（根田）

市議会に思うこと

市議会議員の皆さんが活躍していることは、議会だより等で拝見しておりますが、北秋田市誕生十周年に当たり、各地域で行われてきた伝統・芸術・文化が、どんどん廃れてきていることに目を向けてほしいものです。これは、地域が高齢化してきたことが大きな要因であるとは思いますが、今まで何十年も地域が守り続けてきた伝統・芸術・文化が、この地域ではかけ

皆様の「声」を

募集します！

※市議会では、市民の皆様へへの関心と、より身近で親しみをもっていたくような議会報の取り組みとして、「市民の声」を掲載しております。

また、開かれた議会を目指しておりますことから、皆様には議会傍聴を議員一同、心よりお待ちしております。

がいのない「宝」と思います。例えば、合川地区にある「あじさい公園」もわかりです。地元自治会の皆さんと話しをしてみると、企画・運営をしてくれる所があれば、協力は出来るのだが：との思いを話していただきました。

「あじさい」は市の花であり、あじさい公園は誕生の森ともなっている公園です。議員数が少なくなり大変とは思いますが、北秋田市誕生十周年記念式典に読み上げられました「北秋田市民憲章」の一文を活かすため、お願いの一筆です。



庄司憲三郎議員が受章
地方自治の進展に多大な功績

平成26年度(第50回)秋
田県地方自治功労者表彰式
が、10月31日に秋田県庁正
庁で行われました。
この表彰については、県
議会議員、市町村長、市町
村議会議員、副市長村長等
として、永年にわたり地方
自治の進展に寄与された方
の御功績を称え表彰するも
ので、当市からは庄司議員
が表彰されました。

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
米の需給安定対策に関する請願書	鷹巣町農業協同組合 鷹巣町農協農政対策本部 代表理事組合長/本部長 佐藤清孝 あきた北央農業協同組合 あきた北央農協農政対策本部 代表理事組合長/本部長 疋田俊一郎	採択	提出
農協改革に関する請願書	鷹巣町農業協同組合 鷹巣町農協農政対策本部 代表理事組合長/本部長 佐藤清孝 あきた北央農業協同組合 あきた北央農協農政対策本部 代表理事組合長/本部長 疋田俊一郎	採択	提出
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡大に関する陳情	宮城県肝臓病交友会 代表 大江正義 B型肝炎被害対策東北弁護団 団長 鹿又喜治 薬害肝炎訴訟東北弁護団 団長 増田 祥	採択	提出
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村秀也	採択	提出
介護従事者の処遇改善を求める陳情書	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村秀也	採択	提出
介護従事者の処遇改善を求める陳情	秋田県労働組合総連合 議長 星野博之	みなし採択	提出
労働法制の改悪に反対し安定した雇用の実現を求める陳情	秋田県労働組合総連合 議長 星野博之	採択	提出
年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める陳情	全日本年金者組合秋田県本部鷹巣阿仁支部 執行委員長 上遠野雅彦	継続審査	
専ら被保険者の利益のための年金積立金の安全かつ確実な運用に関する意見書の提出を求める陳情	日本労働組合総連合会秋田県連合会(連合秋田) 会長 東海林 悟 連合秋田大館地域協議会 議長 碓谷博人	採択	提出
集団的自衛権容認の閣議決定を撤回し、閣議決定にもとづく法整備等を行わないよう関係機関に意見書を提出することを求める陳情	秋田県平和委員会 代表理事 川野辺 英昭	不採択	
住民税非課税基準の引き下げをしないことを国に求める陳情書	北秋田生活と健康を守る会 会長 細田サミ	不採択	

人事案件

本定例会に人事案同意案件が提案され、次のとおり同意することに決定しました。

- ◎ 人権擁護委員候補者の推薦
- 奥山 亮修 (米内沢)
- 石田 テル (阿仁水無)
- 松橋 幸子 (阿仁比立内)
- 佐藤まり子 (阿仁水無)

あどがき

新年を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年の12月初めの衆院選公示日の頃から連日に渡り寒波と大雪の状況が続きました。例年より一足早い真冬の到来に、皆様も準備不足で大変戸惑われ、また、ご難儀をされたことと思います。

さて、12月定例会は、4日から19日までの16日間の会期で行われました。各常任委員会と、決算特別委員会に付託された案件が慎重に審査され、そして、最終日の本会議においては、白熱した討論が行われ、付託された全ての案件が滞りなく議決されました。

また、北秋田市議会基本条例の中に、議会報告会の開催が明記されており、そのための班編成も行われ、今年度中の開催に向けての準備が整ってまいりました。3ページに記載のとおり、議会報告会の日程が決定され、各会場で皆様に報告会が行われることとなります。その節はどうか多くの市民の皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

最後に、この一年が皆様にとってより良い年であり、この一年が皆様にとってもよい

(武田 浩人)

次の定例会は
3月です
市民の皆さまの傍聴を
お待ちしております

各常任委員会の会場
総務文教 (本 庁 舎)
市民福祉 (本 庁 舎)
産業建設 (本 庁 舎)

広報公聴特別委員会

- 委員長 福岡 由巳
- 副委員長 久留嶋 範子
- 委員 長崎 克彦
- 吉田 仁吉郎
- 武田 浩人
- 三浦 倫美